

方法書等への複数案記載のイメージ（道路整備事業：既存の高速道路と都市高速を結ぶ府道の整備）

前提条件

- 周辺の土地利用：密集市街地（中高層住居が多数立地、学校・病院が周辺に立地）
- 脆弱な環境要素：（騒音）・環境基準未達成。
（大気質）・SPM：環境基準未達成。
・NO₂：環境基準ゾーン上限に近い。
- 検討した複数案：①起・終点付近を流れる小河川整備と一体的な道路の整備（掘割又は高架） → A案、B案
②起・終点を最短で結ぶトンネルを主とした整備 → C案

	A案（掘割を主とした案）	B案（高架案）	C案（トンネルを主とした案）
複数案の内容	イメージ図	イメージ図	イメージ図
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起・終点付近を流れる小河川整備と一体的な掘割を主体とした道路の整備 ・ ×××については蓋掛け構造 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起・終点付近を流れる小河川整備と一体的な高架道路の整備 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起・終点を最短で結ぶトンネルを主とした道路の整備 ・
環境面からみた長所・短所	<p><長所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間が約△年と比較的短い。 ・ 建設廃棄物の発生量 約○○m³ 発生土の発生量 約△m³ と比較的少ない。 ・ 	<p><長所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設廃棄物の発生量 約○○○m³ 発生土の発生量 約△m³ と比較的少ない。 ・ 	<p><長所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画路線周辺には病院、学校等の保全対象があるが、トンネルを主としているため、影響は小さい。 ・ 工事により影響を受ける範囲は、発進立坑の周辺などに限られる。 ・
	<p><短所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住居系用途地域の通過距離は○kmにも及ぶとともに、事業計画路線周辺には、病院・学校などの保全対象があり、大気質や騒音への影響が懸念される。 ・ 	<p><短所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住居系用途地域の通過距離は○kmにも及ぶとともに、事業計画路線周辺には、病院・学校などの保全対象があり、大気質や騒音への影響が懸念される。 ・ 高架構造物の設置により、景観への影響、日照障害、電波障害が生じるおそれがある。 ・ 	<p><短所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネル坑口周辺で、大気質への影響が懸念される。 ・ 換気塔の設置により、騒音、景観への影響が懸念される。 ・ 建設廃棄物の発生量 約○○○○m³ 発生土の発生量 約△△△m³ と多い。 ・ トンネルの掘削により、地下水位の低下や地盤沈下が生じるおそれがある。 ・
特に配慮すべき環境影響の内容	<p>（騒音、大気質）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掘割・高架部分について、周辺状況に応じた防音壁の形状の検討が必要。 ・ （. . .） ・ 	<p>（騒音、大気質）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺状況に応じた防音壁の形状の検討が必要。 ・ <p>（景観）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境と調和するデザイン・色彩の検討が必要。 ・ （. . .） ・ 	<p>（大気質）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネル坑口からの排ガスの漏出し抑制方策の検討が必要。 ・ <p>（建設廃棄物、発生土）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生利用、再利用方策の検討が必要。 ・ （. . .） ・
その他	<p>（工事期間） 約△年</p> <p>（建設費） 約△△△億</p> <p>（. . .）</p>	<p>（工事期間） 約□年</p> <p>（建設費） 約□□□□億</p> <p>（. . .）</p>	<p>（工事期間） 約○年</p> <p>（建設費） 約○○○○億</p> <p>（. . .）</p>

（備考）事業計画を一つに絞り込んだ経緯についても、条例・技術指針に基づいて、方法書等に記載されることになる。